

令和7年度の実践のまとめ

美濃市立美濃中学校

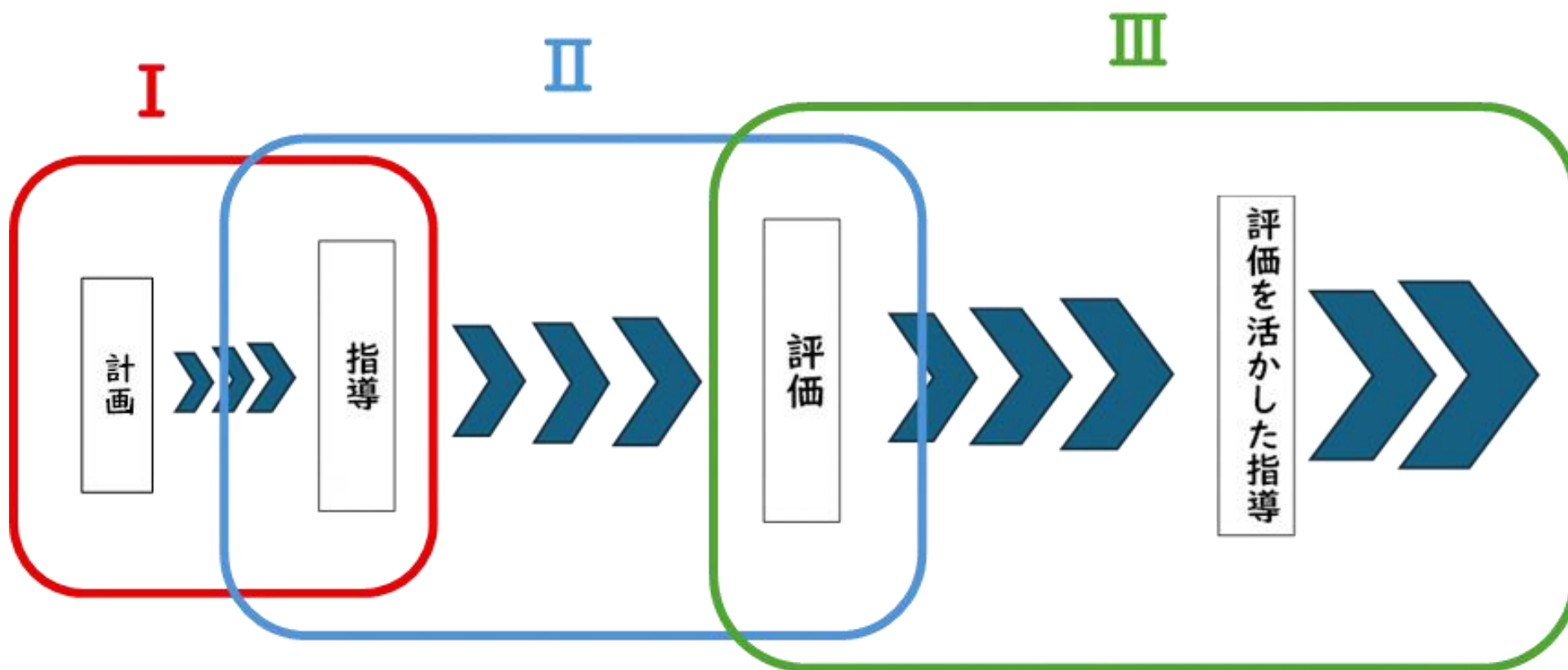
(1)はじめに

主として取り組んできた内容

「主体的に学習に取り組む態度」の
妥当性・信頼性のある評価の在り方

(2) 本校の主張点

- I : 「主体的に学習に取り組む態度」が発揮できる単元構造(節)の工夫
- II : 「主体的に学習に取り組む態度」を見える化し, 評価する工夫
- III : 評価を指導に活かす工夫



I : 「主体的に学習に取り組む態度」が発揮 できる単元構造（節）の工夫

3 前時	2次方程式とその解き方	平方根の考えを使った解き方 $ax^2 + c = 0$, $(x + \blacktriangle)^2 = \bullet$ の形	知②	◆	PDCA⇒P	平方根の考えを使って、 $ax^2 + c = 0$, $(x + \blacktriangle)^2 = \bullet$ の形をした2次方程式を解くことができる。	
4 本時		平方根の考えを使った解き方 $x^2 + px + q = 0$ の形	知② 態③	◆	DCA⇒P	・ $x^2 + px + q = 0$ の形をした2次方程式を、平方根の考えを使って解くことができる。 ・ $x^2 + px + q = 0$ の形をした2次方程式を、 $(x + \blacktriangle)^2 = \bullet$ の平方根の形に帰着させようと工夫して式変形しようと粘り強く取り組むことができる。	・ 行動観察 ・ ワークシート ・ 小テスト（中間）
5 次時				○	DCA		・ 小テスト ・ ワークシート
6		2次方程式の解の公式	知④	◆	PDCA	2次方程式の解の公式の意味を理解し、解の公式を使って2次方程式を解くことができる。	・ 行動観察 ・ ワークシート
7				○			・ 小テスト ・ ワークシート

→ 単位時間完結の発想ではなく、単元や題材など内容や時間のまとまりでPDCAサイクルを計画的に位置づける

Ⅱ：「主体的に学習に取り組む態度」を 見える化し、評価する工夫

C: ①～④を振り返って気づいたこと、学んだことを整理する。

- ☐ はじめの考えと変わったことは？どんな点を工夫（努力）した？
- ☐ 仲間のどんな考えが参考になったり、取り入れたりしましたか？
- ☐ 課題に対してまだ不十分なことは何でしたか？

→ 振り返りの視点を明確にし、
生徒の主体性を見える化する

III

評価を指導に生かす工夫

次回の時間はどんなことを学んでいきたいですか？何をしたいですか？【次回P】

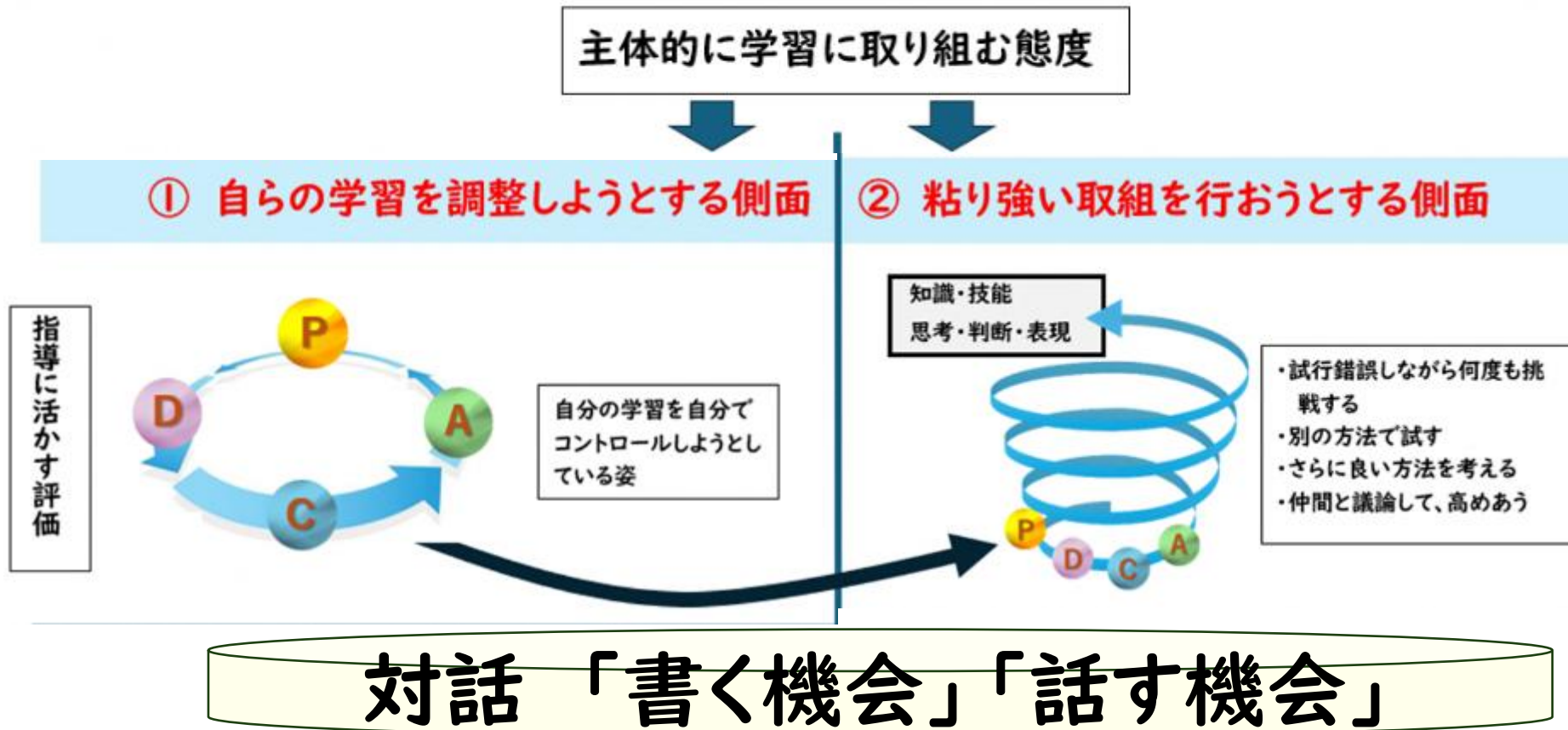
なぜその形になるのか、理解してから答えを見つけ出す。

<2時間目>

前回で、その時習ったやり方は（ほとんど完璧に）
たのび今回は、次の時間にやる解の公式を
使って計算してみたい。前回の1に比べ、計算が2回減る
かなと、簡単に計算できた。まだ完璧じゃない
いや、次回ももう少しで完璧にしたい。

→ 振り返りをもとに次時の計画を練る

(3) 指導と評価の一体化について



- ① 「自己調整力」は生徒自身がPDCAサイクルを1回しっかり回すこと。
(自分の学習を自分でコントロールしようとしている姿)
- ② 「粘り強さ」は生徒自身がPDCAサイクルを何度も回すこと。
向かう方向は「知識・技能」「思考・判断・表現」を身につけること。

(1) 実践例 3年数学

3年生 数学

単元「2次方程式」

～平方根の考えを使った解き方～

(Ⅰ) 実践例 3年数学

単元指導計画の工夫

・指導に活かすPDCAサイクルの位置づけ

P:計画→D:実行→C:点検・分析→A:さらに学びを深める

※知識・技能=知、思考力・判断力・表現力=思、主体的に学習に取り組む態度=態

時		学習内容	評価 の 観点	評価 ◆指導 ○記録	指導に活 かす PDCA	評価規準	備考
1	1節 2次方程式とその解	ロープで囲んだ長方形の面積は？	知⑤	◆	PD	具体的な問題の中から数量の間の関係を見だし、2次方程式をつくることことができる。	
2		2次方程式とその解	知① 態①	◆	CA	2次方程式の必要性和意味を考えようとし、2次方程式とその解の意味を理解することができる。	
3 前時		平方根の考えを使った解き方 $ax^2 + c = 0$ $(x + \blacktriangle)^2 = \bullet$ の形	知②	◆	PDCA⇒P	平方根の考えを使って、 $ax^2 + c = 0$ $(x + \blacktriangle)^2 = \bullet$ の形をした2次方程式を解くことができる。	
4 本時		平方根の考えを使った解き方 $x^2 + px + q = 0$ の形	知② 態③	◆	DCA⇒P	・ $x^2 + px + q = 0$ の形をした2次方程式を、平方根の考えを使って解くことができる。 ・ $x^2 + px + q = 0$ の形をした2次方程式を、 $(x + \blacktriangle)^2 = \bullet$ の平方根の形に帰着させようと工夫して式変形しようと粘り強く取り組むことができる。	・ 行動観察 ・ ワークシート ・ 小テスト（中間）
5 次時				○	DCA		・ 小テスト ・ ワークシート

(Ⅰ) 実践例 3年数学

P：計画

- ・ 前時に目標を立てる

()月()日 P76～77

P(計画・課題):【

】

① $x^2 + 6x - 1 = 0$

② $x^2 + 8x = 9$

③ $x^2 + 3x + 1 = 0$

<前時>P74～75

- ・ 「平方根の考えを使った解き方」の授業の終末に、本時に関わる問題を提示する。
- ・ 「今回の学習を受けて①～③の2次方程式を次回解きます。そのためにどんな課題をもって取り組みますか？」と生徒に問い、P(計画・課題)を立てさせた。

(1) 3年数学

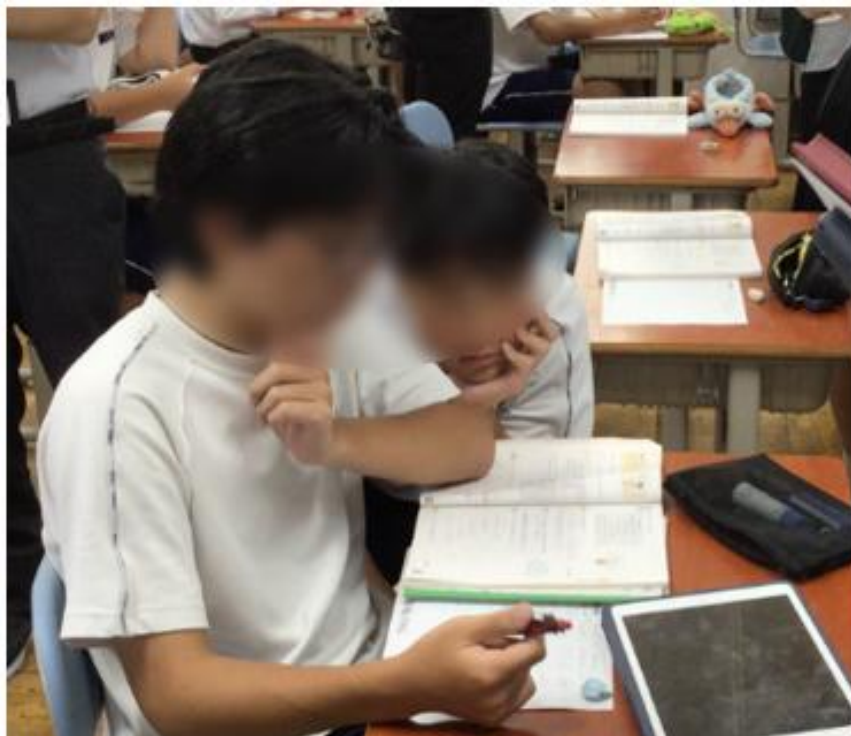
D：実行

- ・ 前時に立てたP(計画)に沿って取り組む

個人



ペア



小グループ



(1) 実践例 3年数学

C: 点検・分析

- Formsを使って評価問題。即時評価。

平方根の考えを使った解き方 (1/2) 【3-4】 (100 点)

正しいものを選択しなさい

1

次の二次方程式を解きなさい (25 点)

$$(1) x^2 - 2x = 5$$

$$\textcircled{ア} x = 1, x = 5$$

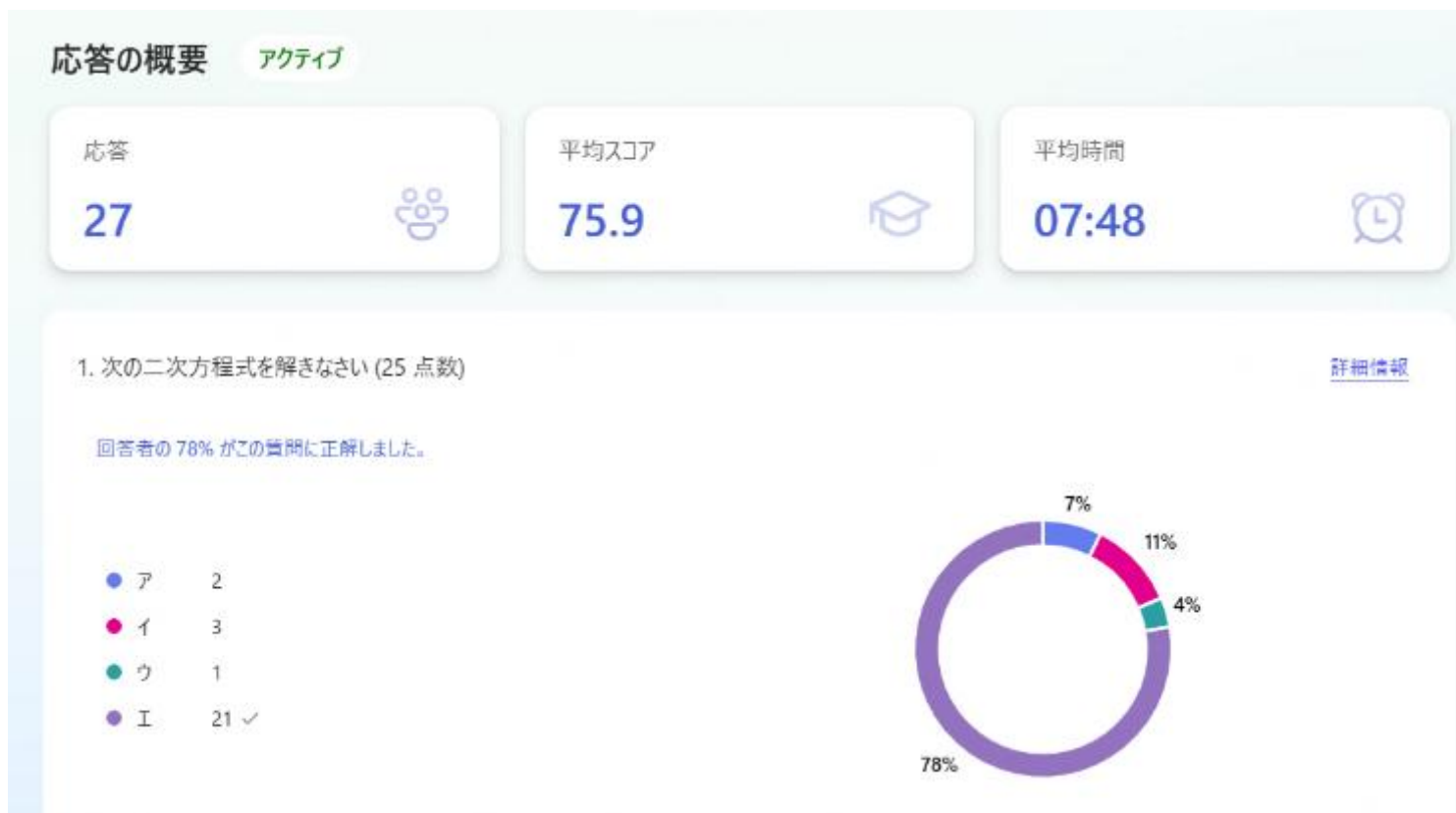
$$\textcircled{イ} x = -1 \pm \sqrt{5}$$

正誤判定から
その場で確認できる

(1) 実践例 3年数学

C: 点検・分析

- Formsを使って評価問題。即時評価。



結果から理解度を
確認して、
指導を振り返る

(1) 実践例 3年数学

A: 学びをふり返り、深める。

C: ①～④を振り返って気づいたこと、学んだことを整理する。

- ☐ はじめの考えと変わったことは？どんな点を工夫（努力）した？
- ☐ 仲間のどんな考えが参考になったり、取り入れたりしましたか？
- ☐ 課題に対してまだ不十分なことは何でしたか？

<1 時間目> 中間ふり返り

仲間の例えば、 9 や 16 は 3^2 、 4^2 のように表せる。という考えになるほどと思い、自分に取り入れることができた。前回は、 $(a+b)^2 = a^2 + 2ab + b^2$ の形には計算しやすくなるために、 a と b の数をみつけ、 a と b の値、自分的には、効率よく計算することができたと思う。答えを書くときは、 $\frac{a+b}{2}$ の時、 $\frac{a+b}{2}$ の形にまでなおせるようにしたい。

次回の時間はどんなことを学んでいきたいですか？何をしたいですか？【次回P】

なぜその形になるのか、理解しながら答えを見つけ出す。

<2 時間目>

A（学びをふり返り、深める）では、3つの視点で振り返らせる。その後、自分を取り組みたい問題を選択して解いていく。

(1) 実践例 3年数学

A: 学びをふり返り、深める。

C: ①～④を振り返って気づいたこと、学んだことを整理する。

- ☐ はじめの考えと変わったことは？どんな点を工夫（努力）した？
- ☐ 仲間のどんな考えが参考になったり、取り入れたりしましたか？
- ☐ 課題に対してまだ不十分なことは何でしたか？

<1 時間目> 中間ふり返り

仲間の例えば、 9 と 16 は 3^2 、 4^2 のように表せる。という考えになるほどと思い、自分に取り入れることができた。前回来たとき、例えば $(2+1)=1$ の形には計算しやすくなるために、あてはまる数を見つけ、あてはめ、自分的には、効率よく計算することができたと思う。答えを書くときは $\frac{0}{2} \pm \frac{0}{2}$ の時、 $\frac{0 \pm 0}{2}$ の形に手ごたえを感じるようにしたい。

次回の時間はどんなことを学んでいきたいですか？何をしたいですか？【次回P】

なぜその形になるのか、理解しながら答えを見つける。

<2 時間目>

次時のP（課題）を、本時の振り返りを受けて設定する。

(1) 実践例 3年数学

生徒の振り返り（2時間目）を終えて

次回の時間はどんなことを学んでいきたいですか？何をしたいですか？【次回P】

なぜその形になるのか、理解したから答えを見つけ出す。

<2時間目>

前回は、その時習ったやり方は（ほとんど）完璧にた。

なので今回は、次の時間にやる解の公式を

使って計算にやる。前回のそれに比べ、計算する回数か

つなぐ。簡単に計算ができた。手が完璧にた

いや、次回もこのやり方で完璧にしたい。

- ・ 前時の学びとつなげている。
- ・ 真の主体性のある生徒が増えた。

(2) 実践例 1 年音楽

1 年生 音楽

単元 「イメージと音楽との
関わりを感じ取ろう」

(2) 実践例 1年音楽

P = 「願い」をもたせる

【願い】

どんな(林・海)をつくりたい？(1時間目)

おたやかてなみ 1つないきれいな海。
はれ すきとおって魚がみえる。

交流してみて…(4時間目)

もっと2コマみたいにまとまってえんそうしたいし。
もっときれいな海を、しかりとひょうげんしたい。
だからトライアングルできれいなひびきを出したい。あ、
強弱も、しかりとだしたかった。

P 願い

(知識技能・内容)

- ～を知りたい
- ～を解決したい
- ～を完成させたい
- ～をできるようにになりたい

(態度面・方法)

- ・友達と頑張りたい
- ・自力で頑張りたい
- ・〇問やり切りたい
- ・先生の話集中して聞いて理解したい

知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身につけたりするため

- ・単元の途中で、改めて願いを考える
- ・願いや考えの変容を見とる

(2) 実践例 1 年音楽

生徒の願い (P) を理解する

にぎやかな海で、船が近づくとしずまる様子を表現したい。楽器がどんどん増えていくようにしたい。

全員がずっと楽器を鳴らしているようにしたい。波を強弱で表現したい。

- 生徒それぞれの願いを把握し、願いを大切にしながらD（実行）に取り組んでいるか、活動を見届ける。

優しく明るい『はじめ』と激しく暗い『なか』の違いをもっとはっきりさせたい。

主体性を評価する手立て

- ・他のグループの音楽から良さを見つけることができるように、交流の時にはリーダーから音楽の見どころを伝えてから発表するように流れをつくる。

- ・最初の【願い】から膨らませて考える時の根拠を明確にするよう声をかける。

- ・他のグループと関わるように声をかける。

- ・動画を撮影したり、示範動画を見返したりするなど、タブレットの活用を促す。

- ・前時に改めて考えた【願い】を把握することで、それを仲間と共有し、音楽の改善に取り入れるよう声をかける。

(1) 生徒たちの感想

- ・ 今までは何となくただ聞くだけの授業だったが、自分で目標を立てることで、何か一つは頑張ろうという気持ちになった。
- ・ 目標があることでゴールがはっきりするため、「もう少し頑張ろう」という気持ちが湧いてくる。

(2) 生徒たちの感想

- ・ 振り返りを書くことで、次の改善点が分かるようになった。次はこうしようと思い、やる気が出てきた。
- ・ 振り返りを書くことで「ここまでは終わらせよう」や「次回はここをやりたい」など次の目標を無意識的に立てることができた。

(3) 成果

- ・生徒自身が学習の計画を立て、1単位時間ごとにPDCAサイクルを回していくことで、**自らの学びを自己調整しようとする姿を引き出す**ことができた。
- ・**Formsを活用して評価問題に取り組み**，生徒の学習状況を「見える化」することで，教師は指導改善，生徒は学習改善につなげることができた。
- ・「**願い**」を単元のはじめだけでなく，中間に改め**て考える**ことで，**願いを軸にした活動に**することができた。

(4) 課題

- ・ 自らの学習を調整しようとする姿を引き出すために、他者参照などを取り入れ、1単位時間の授業の中で学習改善を行っていくこと。
- ・ 評価問題をもとにして全体指導に生かすなど、必要に応じて教師の出場を工夫すること。
- ・ 心が動いた根拠を明確化する。

(5) 今後の方向性について

生徒をもう一步、授業にのめりこませる

①学んだことを自覚し、学びの財産を残す

・振り返りシート ・ポートフォリオ

②振り返りの視点を明確にする

・教科の本質にせまった振り返り

③選んだ根拠を明らかにする

・心が動いた根拠を明確にする